

衛生委員会だより 2025年8月

～不安定狭心症とは？～

心筋梗塞を引き起こし、**突然死に至るのが不安定狭心症**です。気づいたら直ちに治療する必要があります。

■【心筋梗塞の一步手前】

動脈硬化を原因とする狭心症では、冠動脈にコレステロールなどの物質がたまってプラークができることで、冠動脈が狭くなるために症状が引き起こされます。

プラークの表面を覆う被膜が薄く破れやすいとことを不安定プラークとよびます。

不安定なプラークが破れ、血栓で血管が非常に狭くなった状態の狭心症を不安定狭心症といいます。

不安定狭心症の主な症状←

胸の痛み 動悸 疲労感 胸の圧迫感 ←
関連痛（奥歯、のど、肩、腕などの痛み） 息切れ←

★**安静時にも症状が現れる**ようになった←

★**症状が長く続く**ようになった・・・など←

■高血圧・糖尿病・脂質異常症などの生活習慣病、肥満がある人は注意しましょう。動脈硬化の進行につながり、狭心症も悪化しやすくなるからです。

不安定狭心症の症状が20分以上続くときは、すでに心筋梗塞が起きている可能性もあります。迷わず救急車を呼びましょう。